

■友好都市江戸川区長が宮澤市長を表敬訪問

友好都市である東京都江戸川区の多田正見区長が、6月23日、区長4期目就任あいさつのため、宮澤市長を表敬訪問しました。

同区との交流は、旧穂高町時代から行われ、市発足後、平成19年に市としてあらためて友好都市提携を結び直しました。市

内には同区の保養健康施設「穂高荘」もあり、区民まつりへの参加やスポーツ交流、青少年交流などを通じて友好を深めています。

本庁舎で懇談した宮澤市長と多田区長は、東日本大震災での支援活動や災害時の対応などについて意見交換をしました。こ

の中で宮澤市長は、岩手県遠野市への支援物資輸送について説明。多田区長は気仙沼市へ職員派遣事例などを取り上げました。

現在、市と同区とは災害に相互支援を行う災害協定を締結していませんが、今後、検討を進めていくことでも意見が交わされました。



多田区長（左）と懇談する宮澤市長と村上副市長

■行政評価外部評価委員会 外部評価を実施

市行政評価外部評価委員会（又坂常任委員長）による事務事業ヒアリングが6月28日・29日、県安曇野庁舎で行われました。

同委員会は行政運営の透明性および信頼性の向上のため、本年度から設置され、市が行う事務事業の内部評価が妥当かどうか、第三者の視点で判断します。

委員には信州大学大学院教授の又坂委員長を始め、税理士など有識者5人から構成され、4人が市内在住者となっています。

ヒアリングでは事業規模が大きかったり、内部評価で意見が分かれた10事業について、各担当課から説明を行い、委員から



担当課職員に質問をする委員

事業内容に対して質問などがされました。28日の「国際友好交流団体育成事務」では、各国際交流団体の類似性や、団体統一の必要性について質問がなされました。委員会では今回のヒアリングを基に評価結果報告書を提出する予定です。

■CO₂削減に向け電気自動車を導入

地球温暖化防止の取り組みに市民の皆さんに関心を持ってもらうことを目的に導入された、電気自動車（EV車）の納車式を6月14日、穂高総合支所前で行いました。

導入した車両は日産製普通自動車型の「リーフ」1台で、6年間のリース契約により購入。



導入車両の説明を受ける宮澤市長

一回の充電で約200キロメートル走行します。

納車式では、宮澤市長が実際に後部座席に乗り、本庁舎まで試乗しました。

市ではEV車普及のための広域組織である「アルプス広域EV普及利活用推進協議会」に加盟しており、導入した車両で2

カ月程度の実証試験を行い、その結果を同協議会へ報告します。実証期間終了後は、公用車として実際に職員が使用するほか、EV車のメリットなどを広く普及するために使用されます。

■男女共同参画フォーラム開催

男女共同参画の推進と啓発を目的に6月25日、堀金公民館で男女共同参画フォーラムが開催されました。

これは、市と安曇野市男女共同参画連絡協議会、同コミュニケーションターが共催で行ったもので、市民や関係者など約120人が集まり、「結ぼう つなげよ

う 家族の絆 地域の絆」をテーマに、基調講演やコミュニケーションの皆さんによるペーパーサークル劇、パネルディスカッションを通じて、男女共同参画を考えました。

基調講演では、(株)コミュニケーションズ・アイ代表取締役の伊藤さかおるさんからテーマと同じ演題でお話があり、この中で伊藤さ

かおるさんは「支え合う、結びあう、人とつながるといふ事に意識して努力が必要な時代。意識していないと途切れてひとりになってしまいます。多様な支え合いをできる事から始めるため、自分自身や周りに関心を持ち、自分から声を出す、掛ける事から始めてみませんか」と話しました。

市民4人と講師によるパネルディスカッション



市民4人と講師によるパネルディスカッション